

◎ 体育部門

1 行事及び内容

(1) 研究委員会

①第1回体育部門研究委員会（6月22日 天草教育会館）

○事業計画

○平成29年度研究主題について説明及び小中共通実践事項の確認

<小中共通実践事項>

ア 基礎的な技能や知識の定着を図り、活用させるための工夫

- ・基礎的な知識・技能の定着を図り、生徒の意欲喚起を図るためのドリルゲームの開発

- ・身につけた技能をゲームで活用できるようにするためのタスクゲームの開発

イ 伝え合う力を高め、体育学習に生かすための工夫

- ・話し合い活動を充実させるための工夫
- ・学習カードや作戦ボードの有効活用

○平成29年度 天草教育研究所体育部門実技研修会にむけて

- ・内容及び講師の選定

○その他

②第2回体育部門研究委員会（11月17日 天草教育会館）

○平成29年度 天草教育研究所体育部門実技講習会に向けて

- ・大会当日の日程及び役割分担についての話し合い

③第3回体育部門研究委員会（1月25日 天草市立新和中学校）

○平成29年度 天草教育研究所体育部門実技講習会の反省

○年間反省

(2) 事業内容

平成29年度 天草教育研究所体育部門実技講習会（1月25日 天草市立新和中学校）

○コアトレーニング、コーディネーショントレーニングについて 講話及び実技

講師 東整形外科 水田順司氏

2 成果と課題

テーマに沿った講話とその理論に基づいた実技指導が行われた。講話内容としては、「今の子ども達のカラダの特徴」、「子供たちの怪我の特徴 成長痛とは?」、「体幹の重要性」、「コーディネーショントレーニングとは?」について説明された。説明では資料を用いた講話だけでなく、体験活動を通じて理解を深められるような工夫をされていた。また、講話内容の解決策として、「コアトレーニング」、「コーディネーショントレーニング」の実技指導があった。乳児期に獲得していない体の基本的な動かし方を学び直すことで、ケガの予防に効果があるということであった。運動負荷は高くなく、子どもから大人までが実践できる内容の体操であった。また、瞬間の状況を瞬時に察知し判断して、目的にあった運動をスムーズに発揮する能力を高めるコーディネーショントレーニングも行われた。同じ運動でもちょっとした条件を変更することで難易度が変わり、体育を実践指導されている参加者も苦戦する様子が見られた。

日頃の児童生徒に対する指導の場面やコンディショントレーニングの場面など、教育活動の中で活用できるものばかりであり、大変実りある実技講習会となった。最後に、次年度は熊本県中学校体育研究発表大会天草大会が開催される。これまでの研究実践を踏まえ、天草の保健体育学習を県内に発信したいと思う。